

うおづ 社協だより

Vol.166
2019 10

みんなで楽しんだ「いこーるな時間」



年齢や障がいの有無に関係なく魚津に暮らす人たちの、
新しいつながりから生まれた「共生のかたち」

「だれもが住み慣れたこの魚津市で安心して暮らせる福祉の
まちづくり」の実現に向けた決意とともに、その大きな可能性
を感じるステージでした。

社会福祉大会に関する詳しい内容は2ページに記載してあ
ります。

※「いこーる」…年齢や障がいの有無に関係なく、「したい」
ことをみんなで共有すること



目次	社会福祉大会受賞者…P2	平成30年度社協決算…P3	ささえあいマップづくり…P4
	赤い羽根共同募金…P5	すてきな福祉人…P6	



社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会
〒937-0801 魚津市新金屋2-13-26
TEL (0765) 22-8388・FAX (0765) 22-8390
E-mail: info@uoshakyo.net (代表)



第68回 魚津市社会福祉大会

7月13日(土)新川文化ホールにて開催しました。

魚津市社会福祉協議会会長表彰 (敬称略)

【民間福祉施設職員】

石原 直美 水橋麻衣子

【社会福祉事業援助者】

寺主喜美子 幾島 慶子

富居 秋子 横田 民子

【ボランティア活動実践者】

富居 章 山北富士子 京扇会

魚津市社会福祉協議会会長感謝状 (敬称略)

(故)木下ユキ子 (故)二川 ノウ
 (故)吉崎 絹子 (故)保要 はる
 (故)高木 弘 (故)河崎すみ子
 (故)廣世 行雄 (故)細川 博
 (故)笠木 文明 西尾須摩子
 (故)伊藤百合子 (故)四十万 武
 (故)飛世としえ (故)山村 晃
 (故)高村 國雄

魚津郵便切手類販売協会
 北陸労働金庫 魚津地域推進委員会
 ユニー(株)アピタ魚津店
 社会福祉法人魚津保育会職員一同

また、議事では大会宣言、大会決議が採択され、「地域共生社会」の実現ため、地域で人と人がつながり支え合いながら、地域福祉の推進に向け努力することを誓いました。



「だれもが住み慣れたこの魚津市で、安心して暮らせる地域福祉のまちづくりの実現に向けて、市民、福祉関係者、約三百名の参加して開催されました。式典では当協議会会長から社会福祉事業の推進に貢献された方々へ表彰状の授与、また、多額のご寄附をされた方々へ感謝状が贈呈されました。



記念アトラクション

いこーるライブ with CHIKO



元気いっぱい到手話ソングを披露してくれました。

会場の皆さんもいっしょに「いこーるな時間」をたのoshimしました。



総勢50人の出演者がステージを盛り上げました。

いこーるな仲間になるために ~僕たちができること~ (6月17日すずめ児童センター)



今回のライブで初めて出会う障がいのある人たちと、楽しく活動するための事前学習を開催しました。
 車椅子の介助の仕方、視覚障がいのある人と接するポイントなど、ご本人からたくさんのご話を学びました。



きれいにメイクをしてもらって。



CHIKOさん。元気をいっぱいもらいました。

ライブに出演してくれた方々

CHIKO、すずめ児童センター、身体障害者デイサービスセンター、まどかの会、どんどこ隊、重要心身障害児者親の会、それいゆ

平成30年度 魚津市社会福祉協議会事業報告・決算報告

地域福祉や地域福祉に関する活動を充実し、福祉のまちづくりを推進するため、様々な事業を実施しました。

平成30年度収入 (730,641,295円)



収入内訳	
①介護保険・障害福祉等サービスの利用料収入	371,488,166円
②魚津市や県社協などからの補助金、受託金、指定管理料等	162,752,034円
③その他の収入	18,852,859円
④市民の皆様から頂いた会費、寄附金	7,318,407円
⑤前年度からの繰越金	170,229,829円
合計	730,641,295円

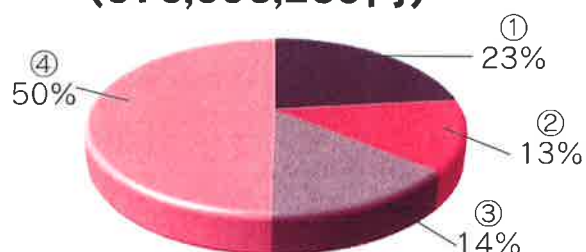


児童センターの運営

地域を支える人づくり



平成30年度支出 (576,093,239円)



支出内訳	
①地域と人が活躍するために使ったお金	133,122,954円
②児童センターの運営などに使ったお金	74,616,939円
③障がい者などへのサービス提供に使ったお金	81,936,232円
④介護保険のサービス提供に使ったお金	286,417,114円
合計	576,093,239円

令和元年度への繰越 収入－支出＝154,548,056円

※詳細は、本会ホームページでご覧いただけます

ささえあいマップづくり

住民同士で地域の福祉課題について気づき、解決策を考えるため、「ささえあいマップ」づくりに取り組んでいます。

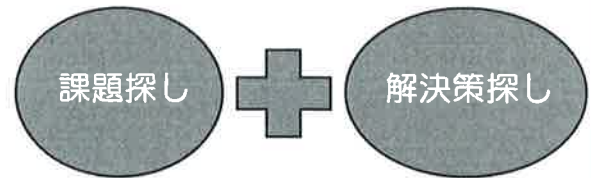
少子高齢化が進む中、核家族や高齢者だけの世帯の増加により、孤独を感じたり、公的なサービスだけでは対応できない住民の生活上の課題があります。

ささえあいマップづくりは、地域における「気になる人」とそれに関わる人を線で結び地図に落とし込むことで見えてくる住民のふれあい、助け合いの実態や福祉課題を把握し、そこから得られる解決策を探る一つの手法です。



ささえあいマップ
づくりの目的！

**ひとりひとりが
おもいやりのきずなでつくる
福祉のまちづくりのために**



魚津市での取り組み

市内ではこれまでに、3つの地区でささえあいマップづくりが行われ、今年度新たに2地区が作成中です。

普段暮らしている町内で行われているささえあいや住民のつながりを、マップ上に線で引く作業を行い、住民同士のつながりを再確認することで、今まで見ていなかった課題等に気づく機会となっています。

また、課題への対応策について、住民の皆さんが意欲的に話し合い、関係団体と連携して対応していこうとする動きもみられ、ささえあいマップづくりを通じて、「ひとりにさせない地域づくり」を着実に進めています。



取り組み地区

新規作成中—経田地区(全町内) 西布施地区(全町内)

更新作業中—上野方地区、加積地区、道下地区

**あらたな出会いから生まれる新しいつながり、そして魚津が元気な福祉の街になるために…
できることを持ち寄り、ワークショップを開催します。**

日時 11月23日(土曜日)

場所 ありそドーム研修室

お問合せ・参加申込先

身体障害者デイサービスセンター

☎22-1250

学生さん、子育て中のママたち、福祉、教育、商工、行政の方々…。このワークショップは魚津に暮らすいろんな人が、地域で暮らす困っている人たちのことを考え、できることを持ち寄り行動する実践方法を考えるプログラムです。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

※託児をご希望される方はご相談ください。



魚津市の募金は、 魚津市のために使われています。



10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります。
皆様から寄せられた募金は、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する福祉活動など、「魚津のまちをよくするための活動」や災害支援などに役立てられます。
今年もみなさまの温かいご協力よろしくお願いします。

高齢者のために



魚津市老人クラブ連合会 「東部デイ友愛訪問」

仲間との趣味活動をは生きがいのひとつ。
デイサービスで活動を披露して利用者さんも笑顔になるよ。

子どものために



道下地区社会福祉協議会 「子育てサロン」

ママたちの強い味方。子どもも楽しくママ同士の交流もできるよ。

障がいをもつ方のために



どんどこ隊 「ブルーベリー農園音楽会」

障がいをもつ方、支援者と地域の人と交流するきっかけをつくるよ。鈴やベル、トーンチャイムをならし身体を動かせば、みんな自然と笑顔になるよ。

世代を超えた交流のために



上野方地区社会福祉協議会 「野方ふれあい会」

地域の子どもたちと高齢者が交流。手遊び、肩たたき…「おじいちゃん、おばあちゃんいつまでも元気でいてね」

子どもたちの募金箱コンクールにむけて、募金箱づくり教室を開催しました。
8/9 かもめ児童センター 8/7 ひばり児童センター
自分たちの作った募金箱で、魚津のまちがよくなっていくことをワクワク想像しながら子どもたちは楽しそうに作っていました。
今年も「募金箱コンクール」として市内各小学校に応募を呼び掛け、優秀作品を表彰する予定です。
また、10月には応募された作品を市内ショッピングセンターで展示します。詳細は魚津市社協ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



赤い羽根共同募金に関する問合せは・・・魚津市共同募金委員会 ☎ 22-8388

教えて！うおっしゃくん

検索

最近、忘れっ
ぼくなった
なあ…。



これって認知症
かしら…。

認知症と物忘れはどう違うの？

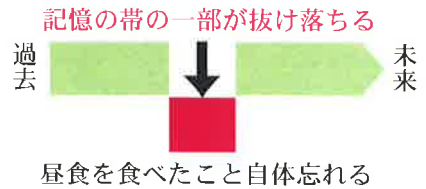
加齢による物忘れ

- ・体験したことの一部を忘れる
- ・ヒントがあれば思い出せる
- ・物忘れを自覚している
- ・日常生活に支障がない



認知症による物忘れ

- ・体験したこと自体忘れる
- ・ヒントがあっても思い出せない
- ・物忘れを自覚していない
- ・日常生活に支障がある



年齢を重ねると、記憶力が低下するって言うよね。加齢の
よる物忘れと、認知症による物忘れには違いがあって、
認知症の場合は他の人が気づくことがよくあるよ。



東部デイサービスセンター ☎22-7772



第50回じゃんこい魚津まつり
せりこみ蝶六街流し

50周年記念特別賞受賞

魚津のまちをおどりで盛り上げたい！
今年もそろいの赤い法被と元気な声。
初参加のうおっしゃくんと一緒に元気に
踊りました。
そして、見事、特別賞をいただきました。



表彰式には
うおっしゃくんが
出席し、表彰状を
いただきました。



新コーナー

きらりふくし人

うおっしゃくんがみつけた
素敵な仲間たちを紹介
していきます。



魚津市身体障害者デイサービスセンター

所長 武田 智子さん

介護現場一筋 数十年。介護技術の高さだけではなく、
本人や周りの人たちを笑顔にする支援力の高さから、職場
の仲間は武田さんのことを「介護のエンターテイナー」と
呼びます。

「ただ介護すればいいんじゃない」というのが口癖で、本
人の力を最大限に活かした介護を大切にしている武田さ
んは本人と一緒にできること探しをするのが楽しいと語
ります。

「たくさんの人と出会い、その人々の大切な人生にかか
わらせてもらえる福祉の
仕事。こんな幸せな仕事は
他にはないと思う」と飛び
切りの笑顔で語ってくれ
ました。

